

導入事例
らくらく
ボード電子黒板、タブレット、クラウドツールはこれからの教室の常識に。
Chromebook連携の要として活躍する「らくらくボード」

橿原市立白檀北小学校は、大和三山の1つとして知られる畝傍山をはじめ、金剛山、葛城山などを臨む、自然豊かな白檀町に立地する公立小学校です。全校7クラスと特別支援学級から成るアットホームな雰囲気の中で、「たくましいかしのみっ子」の育成に努めています。全クラスへの電子黒板の導入が進みつつある同校で、先行して「らくらくボード」を活用してきたのが笹岡智佳子先生(2年生担任)です。今回、算数の授業を見学させていただき、「らくらくボード」の導入効果などについてお話を伺いました。



導入商品

らくらくボード
IWB-651EB
※スタンドは別売りです。

電子黒板、タブレット、クラウドツール……、これからの教室のICTとは

授業の冒頭では、「らくらくボード」に練習問題を表示して、復習の時間を取っていましたね。

チーム対抗のクイズ形式だったせいか、大変な盛り上がりでした。

笹岡先生:いつも元気よく、一生懸命取り組んでくれる子どもたちですが、電子黒板が導入されてからはより積極的になったと思います。授業の最初の数分間でこのようなミニドリルを行うのには、「つかみ」の意味もあり、また、前回の授業内容の定着を図る目的もあります。1人1台ずつChromebookを導入済みですので、それぞれ黙々と取り組ませることもできるのですが、やはり最初は皆で電子黒板に向かって一体になることを重視しています。

その後、Chromebookを使って問題を解いていましたが、教材はどのようなものを使われていますか。

笹岡先生:タブレット学習ソフトの「ミライシード」、協働学習用にGoogle Jamboard、またNHK for SchoolやYouTubeなどのコンテンツでも、よいと思えるものはどんどん活用しています。授業支援ソフト「ロイロノート・スクール」は、WebカードでURLを安全に共有できますので、調べ学習によく使います。ミニドリルはフリーで配布されているものですね。このような様々な教材を組み合わせ、学習の定着や意欲の持続につなげています。

この環境で電子黒板はどのような役割を担っていますか。

笹岡先生:まずはクラス全員での画面共有です。子どもたちがChromebookで行った作業の成果を、大画面で一緒に見るのが大切です。自分の解答を皆に見てもらい、それについて説明することが考える機会につながります。さらに、「できた子」が「まだできていない子」に気付いて自主的に教えてあげたり、友だちの解答に関心を持って質問したりということが自然に発生するなど、非常によい効果が生まれています。

低学年では、注目させたい場面で集中的に活用

「らくらくボード」やChromebookと、既存の黒板やノートの使い分けで意識していることはありますか。

浦西教頭:笹岡先生の授業では、ツールの利用頻度など、バランスが非常によく考えられていると思います。今回の授業では、液体の体積を測って実演していましたが、例えばこれは、あらかじめ撮影された映像を使って、オールデジタルで見せることも可能でしょう。ですが、あえて具体物をWebカメラで撮影して、「らくらくボード」の画面に拡大表示しながら説明していました。具体物の実感も重視しながら、電子黒板でよりわかりやすく補っていくという、この配分が絶妙だと思います。

笹岡先生:電子黒板の活用にはたしかに工夫が必要で、学年に合わせた使い分けも求められます。小学校低学年ではメリハリをつけて、注目させたい場面で集中的に使うのがよいですね。

個別最適化の学びを実現させるために

「らくらくボード」の効果について、実感されていることがあったら教えてください。

笹岡先生:これまでの積み重ねがうまくできていない児童の場合には、無理して皆と同じことをせず、ミライシードなどを使って、自分のレベルに合った問題に取り組んでもいいんです。前に戻って、納得いくまでやり直してもいい。授業のICT化が進むことで、様々な障壁が取り払われ、それぞれに合った指導ができるようになってきていますね。

浦西教頭:デジタル教材がさらに増えることで、学びの手段はさらに多様化していくでしょう。「できる子」にはもっと自信をつけてあげて、支援が必要な子にはスモールステップで教えていく——、教室でもこのような個別最適化の学びが実現するはず。それを適切にサポートしてくれることを「らくらくボード」などのICT機器に期待しています。

※ミライシードは株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。
※ロイロノートは株式会社Loiloの登録商標です。

取材にご協力いただいた先生



橿原市立
白檀北小学校

笹岡 智佳子 先生



橿原市立
白檀北小学校

浦西 礼美 教頭



CLIENT DATA

導入学校 / 橿原市立白檀北(しらかきた)小学校
所在地 / 奈良県橿原市
設立 / 昭和52年